

景子の神奈川行脚

〔10月〕

- 1日 茅ヶ崎駅朝立ち、市民相談、15区湘南の会
- 2日 厚生常任委員会
- 3日 市民と市長の対話集会、社民党総会
- 4日 「里山っこ」映画会
- 5日 ファイバーリサイクル、市民相談、神奈川議員懇談会
- 6日 議会運営委員会、決算特別委員会
- 7日 茅ヶ崎駅朝立ち、議会運営委員会、本会議
- 8日 おひさま保育
- 9日 国民連合懇談会
- 11日 市民体育祭
- 12日 障害者運動会、国民連合世話人会
- 13日 おひさま保育
- 14日 決算委員会打ち合わせ
- 15日 県社会福祉大会、福島みずほ講演会
- 17日 参議院選駅頭応援、市民集会、慶應大学祭訪問
- 18日 英語多読講演会、社民党研修会
- 19日 県庁で記者会見、決算委員会打ち合わせ、医療問題懇談会
- 20日 参議院選応援
- 21日 技能表彰式、おひさま立ち入り調査立ち会い、映画会「花はどこへいった」
- 22日 おひさま保育、反核平和リレー応援、事務所作業
- 23日 県政ニュース発送作業、スタッフミーティング、ベトナムチャリティーコンサート
- 24日 湘南地区福祉まつり、円蔵敬老会、おひさま秋の会
- 25日 中海岸例大祭、手工芸展
- 26日 おひさま保育、県政ニュース配布
- 27日 決算特別委員会、国民連合講演会
- 28日 茅ヶ崎駅朝立ち、薬物乱用防止教育認定講師講習会
- 29日 知事訪問、予算要望とりまとめ、タンゴコンサート
- 30日 決算特別委員会、市防犯大会
- 31日 市民相談

〔11月〕

- 2日 茅ヶ崎駅朝立ち、教育委員会表彰式、県道促進要望書提出、あべともこ氏と懇談
- 3日 市民ふれあいまつり、県政ニュース配布
- 4日 茅ヶ崎駅朝立ち
- 5日 茅ヶ崎駅朝立ち、決算特別委員会
- 6日 おひさま保育、市民相談、秋の夜の演芸会
- 8日 神奈川私学のつどい
- 9日 茅ヶ崎駅朝立ち、決算特別委員会
- 10日 議会運営委員会、医療問題懇談会
- 11日 海岸調査、スタッフミーティング、フランスの子育て政策学習会、
- 12日 おひさま保育、老人会大会、薬物乱用防止講習会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 なぎさシンポジウム
- 15日 ふれあいの集い、茅ヶ崎コミセンまつり、えぼし岩シンポジウム、
- 16日 茅ヶ崎駅朝立ち、献血運動、ホームレス自立支援講演会
- 17日 決算特別委員会
- 18日 県立保健福祉大学見学・横須賀軍港めぐりバスツアー
- 19日 おひさま保育、
- 20日 厚生常任委員会、対政府交渉
- 21日 国民連合全国総会
- 22日 なぎさシンポジウム
- 23日 全国シュルターシンポジウム、あべともこアフガン報告会
- 24日 おひさま保育、お茶の水大学院生よりインタビュー取材、市議との懇談
- 25日 県社民党予算要望書提出、新春のつどい打ち合わせ
- 29日 県福祉促進大会
- 30日 議会臨時会

〔12月〕

- 1日 本会議、議案説明
- 2日 茅ヶ崎駅朝立ち、市民相談、スタッフミーティング
- 3日 中小企業まわり、学生インターン議員交流会
- 4日 本会議
- 5日 故武田県議一周忌法要
- 6日 野球リーグ閉会式、EV車導入イベント、鶴が台寄席
- 7日 ファイバーリサイクルネットワーク、本会議、歯科医師会懇談会
- 8日 こども遊びの会
- 9日 茅ヶ崎駅朝立ち、本会議
- 10日 環境政策モーニングセッション、本会議
- 11日 おひさま保育、市議との懇談、歌謡ショー
- 12日 新社研セミナー
- 13日 ハッ場ダムフォーラム
- 14日 厚生常任委員会
- 15日 横須賀・横浜・鶴見軍港めぐりツアー、女性議員の会
- 16日 厚生常任委員会、消防の会
- 17日 神奈川のお産を考える会県内視察
- 18日 議会運営委員会
- 19日 湘南シニアクラブ
- 21日 野口さん打ち上げイベント、白十字会寄付、本会議
- 22日 おひさま保育、市民相談、神奈川議員懇談会、市民派議員懇談会
- 24日 おひさま保育、市民相談、勝又恒一郎氏と懇談会
- 25日 おひさま保育、スタッフミーティング、事務所大掃除
- 26日 「チエ・39歳別れの手紙」映画会
- 30日 「ホームレスと出会う子どもたち」試写会



慶応大生と知事訪問



EV車導入イベント



反核平和リレー応援



軍港めぐりバスツアー



2010年

くさか景子の新春の集い

恒例となりました「くさか景子新春の集い」を下記の要領にて開催させていただきます。今回は初めての試みとして「俳句コンテスト」を行いますので、ふるってご応募ください。また、新年を祝い、ジャズライブもお楽しみいただけます。どなたでも参加できますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださるようお願い申し上げます。

※俳句コンテストご応募の方は、下記事務所までご連絡ください。

日 時 2010年2月11日(木)(祝)
午後2:00

会 場 JAさがみ茅ヶ崎支店5F AB会議室

定 員 300人

参加費 3000円(事前申込み制)

申し込み先 くさか景子事務所
FAX・E-mail・TELでお申し込みください
TEL&FAX 0467-58-0290
E-mail future@grace.ocn.ne.jp

平成22年度第1回定例会日程

2月17日18日19日	本会議
23日24日25日	本会議
3月1日2日3日4日5日	常任委員会
8日	特別委員会
10日11日15日16日	予算委員会
17日	常任委員会
19日24日	本会議

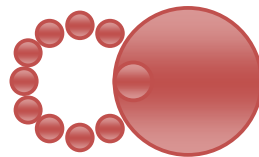




神奈川県議会議員

くさか景子と未来をつくる会

県政報告 Vol.12 2010年1月



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子

連絡先 くさか景子事務所

〒253-0043 茅ヶ崎市元町 3-17 村田ビル 202

Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp

http://www3.ocn.ne.jp/~children/

くさか景子のハチドリのごとく

12月県議会報告

12月1日～12月21日

県の事業仕分け



国の「事業仕分け」と同様に県は事務事業評価を行い、300余りの事業から「現行継続」や「見直し」の10件を選び、外部評価しました。メンバーは公募で選ばれた県民やNPOスタッフ外部点検チーム8人です。結果は、金額は小さいが、1件廃止「酪農肉用牛対策事業費補助」(20万円)、その他9件は見直し「下請企業振興対策費補助」(29.48万円)などとなりました。

県財政の健全化に向けて

来年度は、県財政状況の悪化で、大きく3つの事業の廃止、見直しも行なわれます。2013年3月をめどに、入居率が低下したため、大阪、愛知に次ぎ、3番目となる県職員公舎53棟1138戸を全廃売却、価格は101億円です。

次は、県、横浜市、横須賀市で構成する花月園競輪場(横浜市)を、売上高減少から累積赤字がかさんだため、2009年度までに廃止となります。

また、教育委員などの行政委員の報酬を都道府県で初めて、月額制から日額制に改めて約3割(600万円)削減します。さらに、現行の部を局に組織改編

し、8局体制にし、管理職は部長と課長に統一、権限を大幅に移譲、組織のスリム化をはかります。

福祉、子育て予算にまでしわ寄せが！

来年度が約1200億、再来年度が2000億という財源不足を抱える県財政、事業の見直しや廃止では追いつかず、福祉補助金などが一律15%カットされ、県民生活特に、弱い立場のひとたちにもしわ寄せが訪れ、なんともしがたいたいものがあります。

ボランティア団体と県との協働条例 継続審議となる

知事のマニフェスト11(イレブン)のひとつ、NPOと県が協働事業を行う際のルールとなる条例です。協働事業の制度整備相談体制から、NPOへの補助、税制度の整備まで、協働事業の推進とNPOの活動が発展していくための支援には期待できます。しかし、昨今自治体とNPOとの協働事業はかなり浸透してきたところです。これからは、協働事業の内容や質の向上を図ることが求められます。税制度の整備で、県と市町とのすり合わせが不十分とのことで継続審議となりました。

くさか景子のほっとコラム

県議会委員会

一般傍聴を倍の16人に拡大

2010年より、県議会を4回から3回に、会期を100日から200日に改正する。見直しの具体的な内容が提示されたが、交渉会派の有志の議員で決定されるので、悔しいが非交渉会派の私には事後報告だ。

本会議における質問方法は、分割質問方式を導入し、質問席を設け再質問の質を高めようということだ。同時開催だった8つの委員会を半数ずつ開催し、議員も他の委員会を傍聴できるようになること。また、委員会でも今まではふれんぼかりの答弁席の課長以下の職員の数減らし、スペースを確保し一般傍聴を8人から16人に倍増。これは評価できる。

全体的に議会運営の一步前進ではあるが、おかしなのは、総務政策と防災警察委員会には、少数会派の割り当てはない。まだ不十分で納得できない課題も残るがスタートする…。



衆議院議員 齊藤つよしさんと
国政フォーラムにて



12月15日 神奈川県内基地視察

東京湾を船から見る 横須賀基地
横浜ノースドック 鶴見貯油施設



寒い冬の日、横須賀三笠棧橋から船に乗る。今日の視察は、神奈川県平和運動センターの主催で、平和団体や自治労組合の人たちが多い。米軍再編の現況と神奈川県基地全般の事前学習があった。現在在日米軍は5万5千人、ホストネーションサポートいわゆる思いやり予算は、年間2500億円、2700億円、米軍一人当たり約1千万円、横須賀に立ち並ぶマンションの米軍住宅は1戸1億1千万円くらいだそうだ。ちよと米空母ジョージワシントンも入港して横須賀は重々しい。横須賀を出て、横浜の本牧のD突堤は隠れた米軍基地、鶴見貯油施設も民間の石油タンクに混じって米軍のタンクがあり、トラックに給油していた。一番驚いたのは、横浜港にあるノースドック、初めて訪れたがみなどみらいの隣には軍艦が立ち並び、戦争に備えていたことだ。

横須賀に寄港中の空母ジョージワシントン

沖繩の普天間基地移設問題が、議論されてるが、神奈川の基地問題も身近で深刻だ。

大和市 病児保育室 もみの木医院

12月17日

お城のような洒落た医院の2階に病児保育室がありました。定員6名だが多い時は20数人になるとのこと。利用料金は1回2千円と安い！大和市から委託金1千万円を受けていますが、赤字経営とのこと。院長の志の深さに頭が下がります。遠くは東京や逗子から通う人がいるらしい。医院と併設なので安心感があり、こどもの様子をパソコンや携帯から映像でみることができるので、さらに安心です。

働いている親にとってこどもの病気が致命的です。仕方なく仕事を休まざるをえないのは、いつも母親になってしまおう安心して働ける環境整備は必須です。各地域にこういう施設があったらどんなにいいだろう。

もみの木医院の前で



パソコンから子供の様子を説明するスタッフの方



県立足柄上病院 女性専用外来と院内保育室 (つくし園) 12月17日



足柄上病院での意見交換会

各地の病院でも少しずつ女性専用外来の取り組みが始まっています。足柄上は、今から6年前にはじまり、受診者も年々

増えています。完全予約制で週1回ですが、病気の9割が精神疾患で、うつ病、更年期障害などが多いそうです。今後はもっと女性が受診しやすい体制がとれるよう、隠れた診察室の配慮も考える必要があります。

院内保育施設は、200メートルばかり離れた病院職員宿舎の中にあります。定員15人で、7時45分～18時までですが、来年4月から24時間体制になります。看護師は産休明けで100%職場復帰するそうですが、小さい子どもがいながら夜勤業務を組まねばならないのはやはり問題です。しかし、24時間院内保育の存在はありがたいと、今後看護師や女性医師確保に役立ててほしいものです。



寄稿文

今の政権に思う

2009年の日本の政治史上に画期的な出来事と言え、なんといっても、政権が交代したことだろう。

あれから4カ月余りたつて、評価は様々だが、私は重要であったと評価している。

ただ1点気になることがある。

それは、合従連衡(中国戦国時代に、秦、対し、趙、韓、魏、斉、楚、燕の六国が同盟して対抗する策)という言葉が脳裏に浮かんだからである。

目的がハッキリしている場合、人であれば、組織であれ、手を結ぶことは容易であるが、相いれない様々な問題が起きてくると各々が主義主張を通そうとするあまり、分裂してしまう。歴史的にみてよくある話であるが、今の政権にその危うさを感じる。

菱沼 田部許子



神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は厚生常任委員会に所属しています。

厚生常任委員会 12月16日

くさか景子質問 抜粋

県立保健福祉大学の充実を!

看護師、保健師、助産師などの人材育成の大学で6年前横須賀にできました。課題は、研修受け入れ病院不足や今後最重視されている福祉分野の療法



保健福祉大学視察

士などの拡充です。看護師不足が問われる中、県立病院でも人材確保は重要で、大学への期待が高まっています。

雇用相談 ワンストップ・サービスの効果は?

全国のハローワークで、11月30日に行われました。しごと・すまい・くらしが一度に相談できる「ワンストップ・サービス」事業の、特に福祉分野の成果について質問しました。

全体では高い評価で、生活保護申請の

手前での解決策が図られたりしています。が、年末にもう一度ワンストップサービスデイを設け対応することとした。生活保護申請は時間がかかるので、その間のつなぎ資金の充実に努め、昨年末の派遣村の状況にならないよう県の役割が求められます。

子宮頸がんの受診率のUPを

早期発見で予防が可能ながん子宮頸がん。県内の受診率はわずか16.9%で、20〜30代の女性に多く発症しますが若い人はがん検診を受けてくれません。ワクチンも承認され、12月から県立がんセンターでも授与されています。原因といわれるヒトパピロウイルス(HPV)検査と普通の細胞診の検査を併用し、3年ごとに検査すればいいというモデル事業を島根県では行っており、受診率を上げています。神奈川県でも取り入れるよう提案はしましたが、今のところ、県は検診の普及啓発に最善の努力をすることとした。

県立病院の独法化 中期計画決まる

県立6病院のいよいよ具体的な計画が示されました。私が長年問題視している、特に足柄上病院の重点目標は、高齢者総合医療、救急医療、産科医療の充

実です。問題は、南足柄地域の中核病院として、今まで年間1万件はあった救急の受け入れが9千くらいに減り、今後受け入れが可能かどうか?年間650人だった産科が現在240人に減少。今後産科受け入れを増やせるのか?実際には厳しい現状に、目標達成に向け、相当の努力の必要性を要望しました。

11月20日「医療・介護」について 政府に要望する院内集会開く



衆議院議員会館での意見交換会

2008年8月

月、私はこのままでは日本の医療が崩壊する」という切実な危機感を共有して、医療危機を考える

懇談会を立ち上げ、この間2回公開懇談会を開催して意見や情報を交換してきました。この取り組みを通して、前政権のもと、総務省が全国の地方自治体に通達した公立病院改革ガイドラインは、採算性を重視し、医療の質を低下させるものとして撤回するべきだという思いに至りました。

11月20日、関係者が衆議院議員会館に集まって、介護保険制度の要望と併せて全国各地議員から各地の病院問題、存在が危うい有床診療所の現状など意見交換を行い、全国規模で署名、要望活動を確認しました。

「公立病院改革ガイドラインの撤回を求め、国民市民の命と健康を守るための署名」実施中!! 3月末まで

☆今時の子育て事情

茅ヶ崎市の待機児童は相変わらず多く、市の対策にもかかわらず、改善されていません。学歴社会の中で核家族で育った世代は子育てが苦手な人が多いようです。子育て仲間がいない、遊ぶ場所が無い、助けてくれる人がいない。この不器用な世代の子育てにあまりにもやさしくない社会です。子育てを楽しめるようになるために、まわりの先輩世代の手助けと私たちのような小規模保育園が子育て家庭の助け合いの拠点となることを求められ、少子化対策、待機児童対策にもつながっていくと確信しています。

小規模保育施設「おひさま保育舎」 代表 佐山由香

くさか景子のコーディネートが県が取り組みを!

慶応大学生の受動喫煙防止条例の研究をこれまで一緒に取り組んできましたが、このたび研究成果を知事に提案したところ、「スモークフリー」トライアルとして、禁煙分煙に協力する参加店を募集することになりました。学生たちの意見が取り入れられ、学生もパネラーとなり「スモークフリー」フォーラムを開催することになりました。

2月6日(土) 13時〜15時 藤沢市湘南台文化センター